

2021 年度学校スローガン
みんなで挑戦 助け合い

日上市立大沼小学校

1 はじめに

前年度に、3年生以上の学級から代表児童が参加して、学校スローガンを話し合い、合議決定した。「みんなで」がキーワードとなり、運営委員会でも、「みんなが楽しめる学校行事」を提案し、実践していくようにした。

2 資料（実践事例、写真等）

(1) 創立 70 周年記念行事の実施

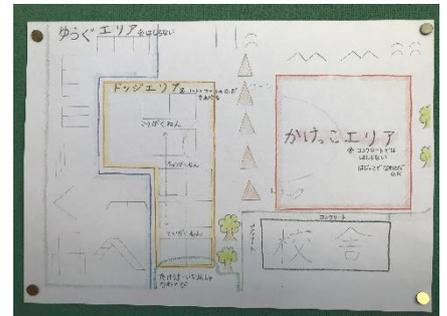
今年度、大沼小学校では、創立 70 周年を迎え、運営委員会が企画運営を行い、創立記念児童集会を実施した。休校明けとなる 10 月 9 日の実施であったため、役割分担や作文などの事前指導は、リモートで行った。当日もオンライン配信を行い、学校に関するビンゴクイズなどを進行することができた。1 学期から、「何をどのように実施するか」と、話し合っていたため、児童は、見通しをもち休校期間中もそれぞれが練習に励み、当日は児童中心で進行して、成功につなげることができた。



児童集会配信の様子

(2) 休み時間の運動ゾーンの設置（保健委員会・スポーツ委員会の活動）

かねてより、休み時間のケガと、それに伴う、保健室来室児童の多さが課題であった。そのため、今年度はグラウンドの区分けを実施して、おにごっこなどの遊びと、ボール遊びの場所を分けて、利用することでケガの防止に努めてきた。その際に、保健委員会とスポーツ委員会児童が中心となって、区分けのラインを引いたり、遊び場所のポスター作りをしたりして、その呼びかけを行った。児童主体となる活動で、学校の保健安全を向上することができた。



呼びかけのポスター

3 成果と課題

成果について

児童集会後にアンケートをとると、「児童集会で学校のことを知ることができたか」の問いに「知ることができた」と回答した児童は 99.8%であった。

休み時間後の保健室の来室は、運動ゾーンの設置前の前年度が 1 日平均 8.3 人であったのに対して、設置後は 1 日平均 1.6 人に減らすことができた。

課題について

学校全体として、登下校中のあいさつに課題が見られる。行事の中で、児童同士が関わる機会を設けて、人と関わる力を付けていけるようにしたい。